

令和5年度 国語科 年間指導計画 第2学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	すきなこと、なあと	2	互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて、話をつなぐことができる。	
		いくつあつめられるかな	2	経験したことの中から友達に伝えたい出来事をメモに書き出して集め、伝えたいことを明確にすることができる。	
		〇お話を音読しよう「風のゆうびん屋さん」	12	物語の内容の大体を捉え、人物の声を具体的に想像して、物語を音読することができる。	
		としょかんへ行こう	2	図書館の利用の仕方や、置かれている本について理解することができる。	
		かん字の書き方	3	漢字の筆順と画数について理解する。	
	4・5	〇たんぼほのひみつを見つけよう「たんぼほ」	12	順序を考えながら文章の内容の大体を捉え、文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合うことができる。	
	5	こなことをしているよ	8	経験したことを分かりやすく伝えるために、簡単な構成を考えて、経験したことを伝える文章を書くことができる。	生活
		外国の小学校について聞こう	4	自分が聞きたいことを集めたいように集中して話を聞き、聞いたことと自分が知っていることの違いや共通点に着目して、感想を持つことができる。	生活
	5・6	〇声やうごきであらわそう「名前を見てちょうだい」	14	物語の内容の大体を捉え、人物の行動を具体的に想像して、物語を音読や動作で表すことができる。	生活
	6	かんさつしたことを書こう	8	身の回りの植物の様子を観察して気付いたことをメモに集め、観察して気付いたことを記録する文章を書くことができる。	
		かたかなで書くことば	3	片仮名で書く言葉について理解し、文や文章の中で正しく使うことができる。	生活
		ことばで絵をつたえよう	5	相手に伝わるように、話す事柄の順序を考え、絵の描き方を説明することができる。	
	6・7	〇文しょうのちがいを考えよう「サツマイモのそで方」	14	二つの文章に書かれている事柄や説明の中で重要な語や文などを考え、二つの文章を読み比べて分かったことや考えたことを伝え合うことができる。	図工
	7	言いつたえられているお話を知ろう	6	神話や伝承の読み聞かせを聞き、内容や感想などを伝え合ったり演じたりして、感じたことや分かったことを共有することができる。	生活
		本は友だち	4	読書に興味を持ち、楽しんで本を選んだり読んだりすることができる。	
	9	〇しを読もう「いろんなおとのあめ」「空にくうんと手をのばせ」	3	詩を音読し、詩に描かれていることを具体的に想像しながら言葉の響きやリズムを楽しむことができる。	
		はんたいのいみのことば	2	対義語に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりすることができる。	
		うれしくなることばをあつめよう	8	互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぎながら、尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合うことができる。	
〇おもちを音読であらわそう「ニャーゴ」		14	人物の行動や気持ちを具体的に想像し、想像したことを音読で表すことができる。	生活	
にたいみのことば		3	同義語や類義語について理解することができる。		
後期	10	絵を見てお話を書こう	12	内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、簡単な物語を書こうとしている。	
		〇どうぶつのみみつをさぐる「ビーバーの大工事」	18	動物について書かれた本や文章などを読み、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、分かったことなどを紹介することができる。	
		主語とじゅつ語	4	主語と述語の働きを理解し、適切な係り受けの関係に気付くことができる。	生活
	11	あそび方をせつ明しよう	8	説明する文章を書き、読み返したり友達と読み合ったりして、間違いを正したり語と語や文と文との続き方を確かめることができる。	
		たからものをしょうかいしよう	8	話す事柄の順序を考えて、紹介したいことが聞き手に伝わるように話すことができる。	生活
		なかまになることば	3	仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりすることができる。	
		同じところ、ちがうところ	6	二つの物を比べて同じところと違うところを見付け、それらが明確に分かるように文章に書き表すことができる。	
		〇読んだかんそうをつたえ合おう「お手紙」	12	人物の気持ちについて想像を広げ、物語を読んだ感想を深めることができる。	算数
	12	おくりがなに気をつけよう	3	送り仮名の役割を理解し、漢字を正しく書いたり読んだりすることができる。	
		「ありがとう」をつたえよう	5	感謝の気持ちを相手に伝えるために必要なことを考え、言葉の使い方や間違いに気をつけて、手紙を書くことができる。	生活
		どんな本を読んだかな	6	これまでに読んだ本について友達と伝え合い、おもしろかったところを友達と共有することができる。	
	1	〇むかし話をしょうかいしよう「かさこじぞう」	16	昔話を読み、おもしろいと思ったところを友達と伝え合い、共有することができる。	
		声に出してみよう	3	音節(拍)と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いを理解し、日本語の母音と子音の構成について気付くことができる。	
	2	すきな場しょを教えよう	9	伝えたいことに必要な事柄を選び、自分が好きな場所のことを紹介して伝えることができる。	生活
		この人をしょうかいします	12	内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、身の回りにいる人を友達や先生に紹介する文章を書くことができる。	生活
		ことばを広げよう	6	文や文章の内容や表現に着目し、よりよい表現について考えることができる。	
	3	〇あなのやくわりを考えよう「あなのやくわり」	12	文章の内容と自分の体験とを結び付けて考え、考えたことを文章にまとめることができる。	生活
		おばあちゃんに聞いたよ	6	長く親しまれるさまざまな言い回しや言葉遊びに触れることを通して、言葉の豊かさや地域の伝統に親しむことができる。	
		「ことばのアルバム」を作ろう	7	自分の文章の内容や表現のよいところを見付け、1年間で最も心に残った出来事を書き直す。	生活
年間授業時数			285		